

インド準備銀行、緊急利下げを実施

ご参考資料 2015年3月5日

インド準備銀行(RBI、中央銀行)は3月4日の緊急会合で、政策金利(レポ金利)を0.25%引下げ、7.5%とすると発表しました。今回の緊急利下げの背景と今後の見通しについて、ご説明します。

今年2回目の緊急利下げ

3月4日、RBIは政策金利であるレポ金利を7.75%から7.5%に引下げると発表しました。今年1月に約1年8ヵ月ぶりとなる0.25%の利下げを行った後、2月3日の定例の政策決定会合では追加利下げを見送りましたが、今回も前回と同様、定例会合を待たずに臨時の会合での緊急利下げとなりました。前日にラジャン総裁が急速な利下げの可能性を否定するコメントをしていただけに、市場ではサプライズとして受け止められています。

利下げの背景

今回の利下げの背景としては、昨年末より原油安等を背景としてインフレ指標が落ち着いた水準で推移してきたことに加え、2月末に発表された2015年度予算案でモディ首相が景気刺激を目指す方針を打出したことが影響を与えていると思われます。ラジャン総裁も引下げ後の声明で「これにより政府と中銀が共通の目的を持ち、財政政策と金融政策が補完的に作用するという、以前は暗黙の了解だったことが明確になった」と述べています。実際、RBIと財務省は、中長期のCPIの上昇率目標を4%を中心に上下2%の範囲に収めるとするインフレ目標を導入することで合意したばかりであり、今回の利下げもラジャン総裁の発言と一致していると思われます。

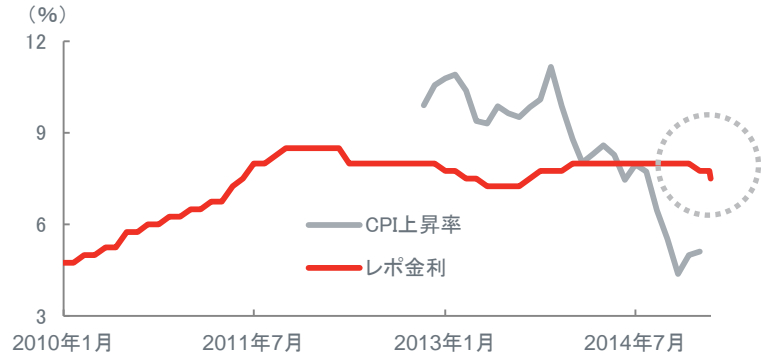
市場の反応

インド市場では利下げの発表直後は、株式、債券、通貨のトリプル高となりました。株式市場は利下げを好感し、代表的な株価指数であるSENSEX指数は一時30,024.74ポイントまで上昇しました。引けにかけては節目の30,000ポイントを超えたことで利益確定の売りに押され、29,380.73ポイント(前日比0.72%の下落)で引けました。また、債券市場(10年国債利回り)も引けにかけて多少売られたものの、前日比0.07%低下の7.685%で取引を終えました(価格は上昇)。インドルピーは利下げ後一時ルピー高に振れましたが、急激なルピー高を防ぐ為、RBIがルピー売りドル買い介入を行ったと見られ、結局1.609米ドル(前日比0.4%の下落、100ルピー当たり)となりました。(日本時間3月4日20時)

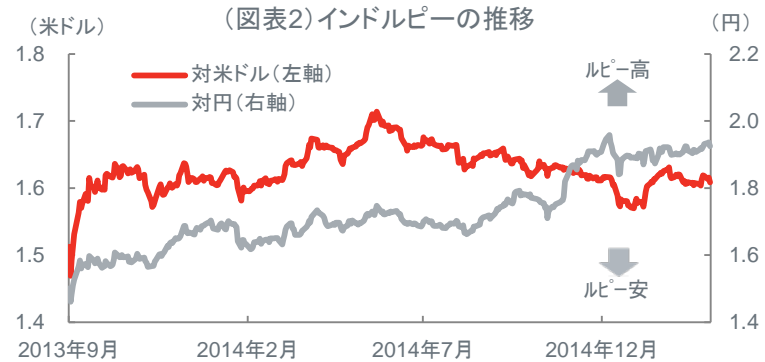
今後の見通し

今年に入り、計0.50%の利下げとなりましたが、RBIはインフレや、年初来増加基調の国外からの資金流入の動向次第で、年内に追加利下げを行うとの見方が市場では優勢となっています。

(図表1) インドのCPI上昇率、レポ金利推移

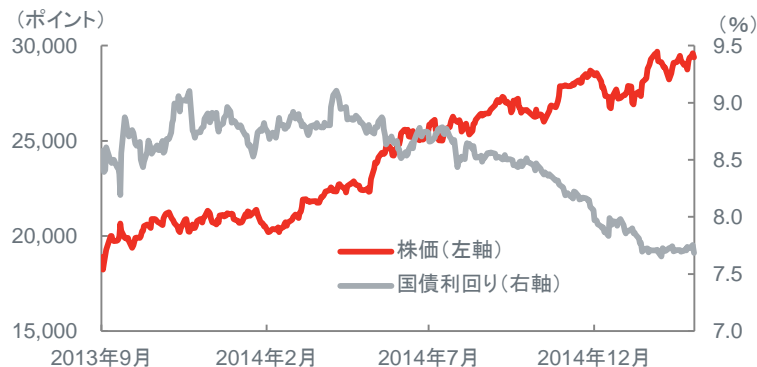


出所: Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
期間: CPI上昇率は2012年11月~2015年1月、レポ金利は2010年1月から2015年3月4日(2015年2月、まで月次データ、3月4日は利下げ実施後の数値を使用)



出所: Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
期間: 2013年9月2日~2015年3月4日。対米ドルは100ルピー当たりの推移。

(図表3) インドの株価と国債利回りの推移



出所: Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
期間: 2013年9月2日~2015年3月4日。株価はSENSEX指数、国債はインド10年債。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用するグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会